

中学校美術科教員の皆様へ

県内中学校で美術教育されている方々はこのような状況のなか、それぞれが今できることを模索しながら不安ともどかしさの中で時間を過ごされていることと思います。ほとんどの活動が停滞し、思うように生徒と顔を合わせることもできていない現状です。

今の状況では休校の延長は避けられないでしょう。各校ではそれぞれの対策が進められているようですが、美術科としてできることを進めていきたいと考え、神中美研究部からアクションを起こしてみました。

学習課題については5教科のみを出している学校もあるようですが、休校が延長となる今、美術科からも課題を発信し、美術を学ぶとか、美しい物に触れて心とまわせるなど生徒のやる気を起こさせる働きかけをしましょう。内容は明確な学びがわからないままに、アイデアスケッチや絵を描かせたりするのではなく、子ども自身がどんな学びと向き合っているのか、目的意識を持たせた活動ができるように学びを明確にしていきたいと思います。

このような状況ですし、どのようなスタイルでも、学年を超えたものでもよいのではないかと考えます。学年によって発問を考慮し、発達度合いに合わせて発問できるといいと考えています。そのため、PDF と word、powerpoint のデータ版を dorop box にアップしましたのでご利用ください。また、部員の皆様からの課題も募集しています。お互いに情報交換し合い、負担の無いようにしつつも、子どもが力を付けるよう工夫して、まずはできることから始めてみましょう。作品や成果物を集めるか集めないか、評価するどうかはそれぞれが判断してください。

また、学年ごとに「美術を学ぶ君たちへ」という生徒への学びを促すメッセージを作成しました。内容をお読みいただき、配布や発信などをして活用してください。使用するかは各校で判断にお任せしますが、内容の検討は十分しているので使用する場合はこのまま使ってください。



それぞれ下の部分に違いがあります

それぞれの学校で次回の登校日には、「美術を学ぶ君たちへ」の序文の内容が伝わるよう工夫して課題を用意し、少しでも心が休まったり、好きなものをみて心が弾んだりするような、美しさや良さを愛することが出来る人間の強みを育てる美術の学びが継続できるようにしていきたいと思います。

各地区で研究部以外の他校へ連絡が取れる方は、時間のない中ですが、連絡を取っていただき、データを分けていただくなど県内のより多くの生徒の学びをサポートできればと思っています。

すべての教科の学びがバランスよく生徒に与えられるように頑張りましょう。